

## 次期中間処理施設整備事業 施設整備基本計画 概要版

1. 施設整備基本計画の目的・位置付け
2. 基本方針
3. 稼働開始目標年次・施設規模の見込み
4. 処理方式
5. 煙突の高さ
6. 発電及び熱利用の方向性
7. 公害防止
8. 防災拠点機能化
9. 全体施設配置
10. 造成計画
11. アクセス道路
12. 建設時及び運営時の対応
13. 事業方式
14. 年度四半期単位の整備スケジュール（参考）

## 次期中間処理施設整備事業 地域振興策基本構想 概要版

1. 構想概要
2. 事業スキーム
3. 展開種別毎の評価（総括）
4. 留意事項

次期中間処理施設整備事業施設整備基本計画及び同地域振興策基本構想の詳細は、組合ホームページに掲載がありますのでご参照ください。



# 次期中間処理施設整備事業 施設整備基本計画 概要版

## 1. 施設整備基本計画の目的・位置付け

本計画は、建設候補地の周辺住民の理解が得られる施設整備とするため、施設整備基本計画検討委員会における調査・審議のほか、地域振興策検討委員会の意見等を考慮し、調整・整合を図り策定しましたが、処理対象物、施設の規模、施設の構成などについては、上位計画の「印西地区ごみ処理基本計画」を踏襲するものであり、施設整備に係る具体的な検討を行う段階までに、直近の当該計画を反映した見直しが必要となります。

## 2. 基本方針

### (1) 地域住民等の理解と協力を確保する安全・安心な施設整備

- ・吉田地区及び周辺の自然環境と調和した施設整備を図る。
- ・地域住民の理解と協力を確保し、安全・安心な恒久施設となり得る施設整備を図る。

### (2) 循環型社会形成と地域活性化の拠点となる施設整備

- ・循環型社会形成を目指すことと併せ、ごみの持つエネルギーを最大限に活用した地域へのエネルギー供給、雇用創出を図る。
- ・地域の特性や資源を活かし、地域活性化に寄与するほか、大規模災害時には避難・救護のための防災拠点の役割と災害廃棄物を迅速に処理する復興拠点としての役割を果たす施設として整備を図る。

### (3) 経済性と高度なシステムの両立を目指した施設整備

- ・効率かつ経済性を考慮した最新技術の導入を図る。
- ・施設整備から運営に至る全段階において経済性に配慮した検討を行い、最適な事業方式の選定を図る。

## 3. 稼働開始目標年次・施設規模の見込み

次期中間処理施設の稼働開始目標年次等は次のとおり設定します。

また、リサイクルプラザ機能は地域振興策等との連携を考慮し整備します。

| 施設                | 稼働開始目標年次 | 処理能力 (※)  | 運転時間      |
|-------------------|----------|-----------|-----------|
| 焼却施設              | 平成 40 年度 | 156 t / 日 | 24 時間連続運転 |
| 資源化施設 (リサイクルセンター) | 平成 40 年度 | 15 t / 日  | 5 時間運転    |

## 4. 処理方式

基本方針を踏まえ、適合性項目による比較検討により総合的に有利とされたストーカ式の焼却炉を選定しました。

| 比較項目          | 焼却方式  |      | ガス化溶融方式 |       |
|---------------|-------|------|---------|-------|
|               | ストーカ式 | 流動床式 | 流動床式    | シャフト式 |
| 整備実績          | 56 件  | 2 件  | 9 件     | 15 件  |
| 安全・安定性        | ◎     | ○    | ○       | ◎     |
| エネルギー生産性      | ◎     | ◎    | ○       | ○     |
| 地球環境への配慮      | ◎     | ◎    | ○       | ○     |
| 経済性 (工事費・用役費) | ◎     | ◎    | ○       | △     |
| 評価            | ◎     |      | ○       |       |

## 5. 煙突の高さ

煙突については、高さの設定により、排ガスの拡散効果、地域振興策としての活用、景観上の圧迫感等を考慮する必要があります。

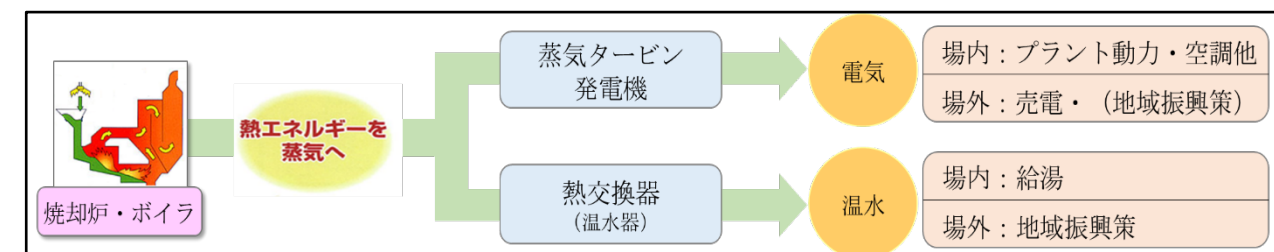
煙突高さは、建設基盤より 59m とすることを基本とし、周辺住民との協議により決定します。

| 比較項目    | 59m     | 60m以上     |
|---------|---------|-----------|
| 採用実績    | 最多      | 59mより少ない  |
| 排ガス拡散効果 | 十分な拡散効果 | 高い方が拡散効果大 |
| 航空障害灯 等 | 不要      | 必要 (※)    |
| 建築基準法   | 高層建築物扱い | 超高層建築物扱い  |

※航空障害灯のほか、幅が高さの 1/10 以下の場合は、中間障害標識 (赤白塗装) が必要となる。

## 6. 発電及び熱利用の方向性

焼却炉で発生した熱は次期中間処理施設 (場内) や地域振興策排熱利用事業等で利用します。



単なる『清掃工場』にとどまらない、『エネルギー回収施設』として、地域活性化に貢献する施設として整備します。

#### 【課題】

- ・地域振興策の施設規模は未定であるが、2 炉運転時における熱エネルギーを最大限活用することを念頭に置き、具体的な発電規模、発電後の温度の下がった蒸気の再利用（ヒートポンプ等）、カスケード利用等、未利用エネルギーの回収について検討します。
- ・最低でも法定点検時の全炉停止期間の 7 日程度は熱エネルギーが供給できないことも踏まえ、補助ボイラ等のバックアップ設備については、熱エネルギー供給元（供給側）または供給先（需要側）で確保するかについても、併せて検討し決定します。

## 7. 公害防止

環境保全と経済性が二律背反の関係となることを踏まえ、適切な自主規制値を設定します。

### (1) 排ガス

| 項目        | ばいじん<br>(g/m <sup>3</sup> N) | SO <sub>x</sub><br>(ppm) | HCl<br>(ppm) | NO <sub>x</sub><br>(ppm) | DXNs<br>(ng-<br>TEQ/m <sup>3</sup> N) | CO<br>(ppm) | 水銀 |
|-----------|------------------------------|--------------------------|--------------|--------------------------|---------------------------------------|-------------|----|
| 法基準値      | 0.04                         | 1,900 <sup>※1</sup>      | 430          | 250                      | 1 <sup>※2</sup>                       | 30          | —  |
| 適用法令<br>他 | 大気汚染防止法                      |                          |              |                          | ダイオキシン<br>特措法                         | ※3          | —  |
| 自主<br>規制値 | 0.01                         | 20                       | 20           | 50                       | 0.05                                  | 30          | ※4 |

※1：法基準値は、 $q=K \times 10^{-3} \times He^2$ （Kは地域毎に設定される値、Heは排出口高（59m））で算定される数値 1,900ppm は、K=9、He=59(m)と設定。

※2：焼却施設を 156 t/日と設定、2 炉構成（2.0 t/h < 3.25t/h < 4t/h：1）となる。

※3：適用法令は「ごみ処理に係るダイオキシン類発生防止等ガイドライン」

※4：水銀の自主規制値は今後の規制や技術動向を踏まえて検討を行う。

### (2) 騒音・振動

印西市環境保全条例施行規則による、特定施設における騒音・振動基準を遵守することを基本とし、周辺住民と協議のうえ検討します。

#### ① 騒音

| 時間の区分  | 昼間        | 朝・夕                      | 夜間          |
|--------|-----------|--------------------------|-------------|
|        | 8時から19時まで | 6時から8時まで及び<br>19時から22時まで | 22時から翌日6時まで |
| その他の地域 | 60デシベル    | 55デシベル                   | 50デシベル      |

#### ② 振動

| 時間の区分  | 昼間        | 夜間          |
|--------|-----------|-------------|
|        | 8時から19時まで | 19時から翌日8時まで |
| その他の地域 | 60デシベル    | 55デシベル      |

### (3) 悪臭

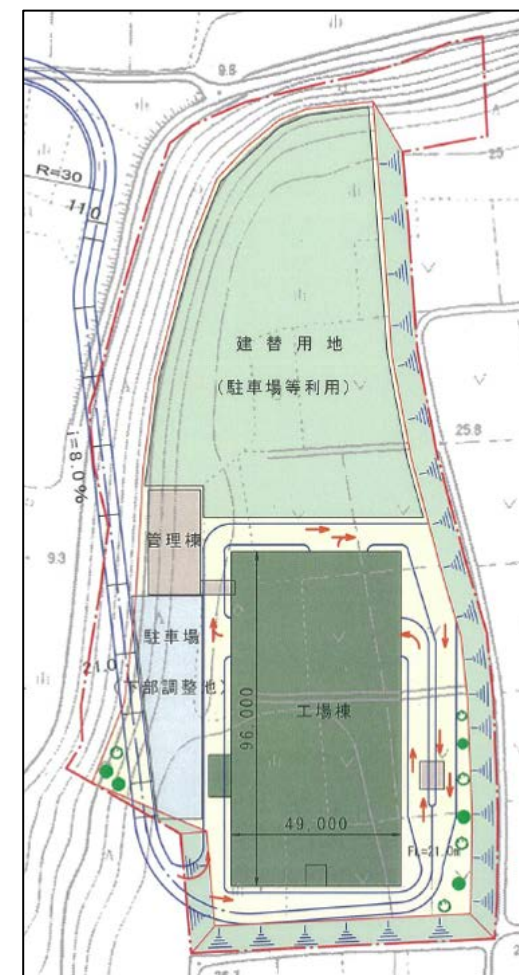
印西市では、印西市環境保全条例施行規則で「悪臭の規制基準は、周囲の環境等に照らし、悪臭を発生し、排出しまたは飛散する場所の周辺の人々の多数が著しく不快を感じると認められない程度とする。」とされており基準値の記載はないが、「物質濃度規制」を採用していることから、同基準を遵守し（アンモニアほか2 1 項目）、周辺住民と協議のうえ検討します。

## 8. 防災拠点機能化

次期中間処理施設は防災拠点機能を有する強靱な施設とし、下記の要件で整備します。

- ・耐震設計は重要度係数 1.25 を適用します。
- ・災害時の始動用電源を確保します。
- ・熱エネルギー供給先となる地域振興施設においては、今後、避難所機能等の検討を行い、次期中間処理施設と一体となった防災拠点化を図ります。

## 9. 全体施設配置



### (1) 管理棟

- ・敷地の制約等により、工場棟一体整備も考慮します。

### (2) 調整池及び雨水排水路

- ・雨水浸透施設等による調整池規模の縮小検討を図ります。
- ・雨水排水路は、地域振興策等と総合的に検討します。

### (3) 敷地内における車両及び歩行者の動線

- ・一方通行を原則、車両運行上の安全を確保します。
- ・歩行者用スペースの確保

### (4) 施設見学者ルート

- ・ごみ収集車両動線と交差しない見学者ルートを確保します。
- ・工場棟内に見学者専用通路を確保します。

### (5) 施設デザイン及び景観

- ・周辺自然環境との調和を図り、ユニバーサルデザインを基本とします。

### (6) 自然環境の保全、敷地内緑化、自然・再生エネルギー利用

- ・自然環境の保全、敷地内の緑化に努めるほか、太陽光等の自然・再生エネルギーの積極的な活用を図ります。

### (7) 施設配置

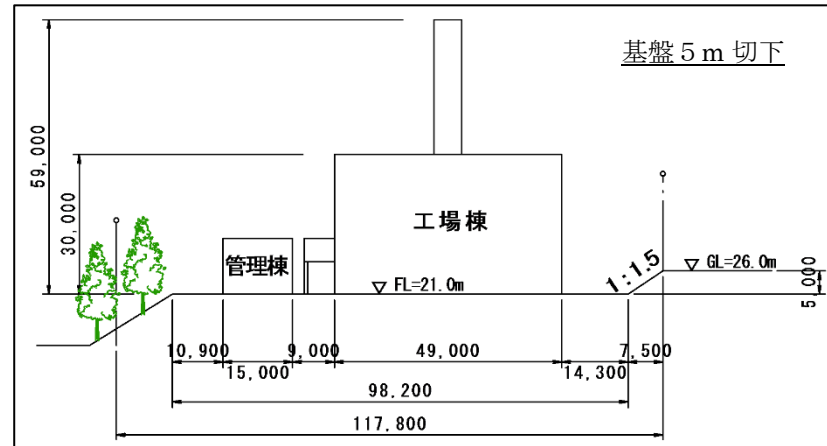
- ・地形、面積等を考慮した施設配置とします。



## 10. 造成計画

次期中間処理施設の造成計画に関しては、建替え用地の確保、アクセス道路案（3方向の接続）に対応するとともに造成面のレベルについては、下記3ケースによる造成比較の検討をしました。

- ① 現状地盤の活用
  - ・造成工事期間が最短となる。
- ② 現状地盤より5m切下（右図参照）
  - ・造成工事費が最も安価となる。
- ③ 現状地盤より10m切下
  - ・有効利用面積が最も大きくなる。



### 【課題】

- ・建替え時の重機足場等、施工ヤード、駐車場の確保が必要となります。
- ・擁壁施工とする場合は隣地協力が必要となります。
- ・建替え時の施設稼働への影響（工事車両とごみ収集車両等の動線錯綜）が懸念されます。

基盤の切下深さは、地盤条件や次期中間処理施設の景観と地域振興策との調和を考慮する必要があり、今後の地質調査結果と周辺住民との協議により決定します。

## 11. アクセス道路

アクセス道路は、公道（現道及び計画道路）から次期中間処理施設用地までを新たに計画します。

道路の規格は、市道松崎吉田線（幅員9m・片側1車線対面通行・片側歩道）と同程度の規格での整備を基本とし、既存の道路を活用することを前提に全8ルートについて検討を行い、印西市ハザードマップによる浸水想定区域・土砂災害警戒地域該当箇所や整備コストが大きいと見込まれるルートは対象外とし、総合評価を行った結果、総延長720mの右図のルートが優位と認められました。

ただし、地域振興策との連携などを考慮する必要があり、今後、詳細な検討を行い決定します。

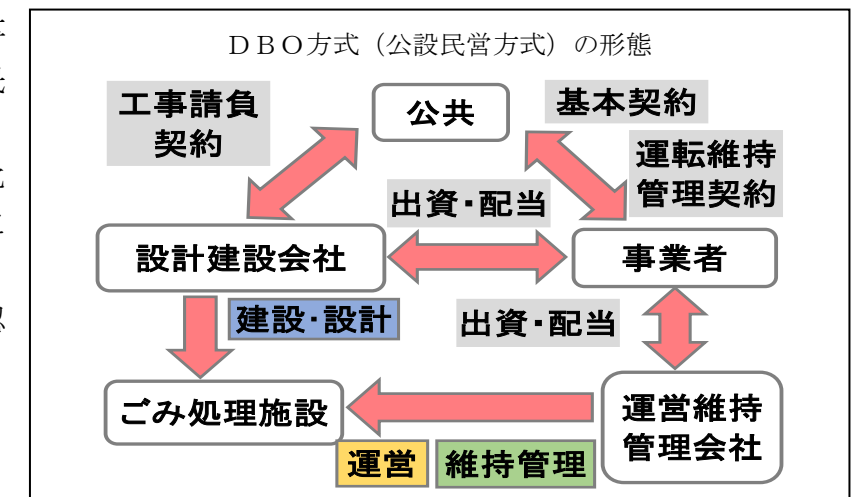


## 12. 建設時及び運営時の対応

- (1) 建設時における運営時の環境及び自然環境への配慮
  - 千葉県環境影響評価条例に基づき、生活環境及び自然環境に配慮します。
- (2) 運営時の監視体制
  - ① モニタリング体制（安全・安定的な操業状況の監視体制の構築）
    - ・周辺住民と組合等で組織する協同機関を設置します。
    - ・排ガス等の自主規制値を定期的に確認するモニタリング体制を構築します。
  - ② 環境測定
    - ・モニタリングポスト（排ガス測定値の表示）の設置、定点観測を実施します。
    - ・運転実績のホームページ上への掲載に努めます。（徹底した情報公開）
- (3) 情報公開（地域の安全、安心の確保）
  - ・工事期間及び運営・維持管理期間中の徹底した情報公開に努めます。

## 13. 事業方式

近年において、ごみ処理施設整備の事業方式は、全国的にDBO方式（公設民営方式）を選択する市町村や組合が多く、ライフサイクルコスト試算による比較の結果、DB方式（公設公営方式）による建設・運営維持管理費に対し、約9%の経費削減が見込まれ、優位性が認められました。



14. 年度四半期単位の整備スケジュール（参考）

| 項目                                                                                                            |                                                                                                  | 年度            |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|
|                                                                                                               |                                                                                                  | H27<br>(2015) | H28<br>(2016) | H29<br>(2017) | H30<br>(2018) | H31<br>(2019) | H32<br>(2020) | H33<br>(2021) | H34<br>(2022) | H35<br>(2023) | H36<br>(2024) | H37<br>(2025) | H38<br>(2026) | H39<br>(2027) | H40<br>(2028) | H41<br>(2029) |
| 1                                                                                                             | 循環型社会形成推進地域計画                                                                                    | →             |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               |
| 2                                                                                                             | ごみ処理基本計画（改訂）                                                                                     |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               |
| 3                                                                                                             | 関係町内会組織との合意形成（整備協定書の締結）                                                                          |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               |
| 4                                                                                                             | 用地買収（本体）                                                                                         |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               |
| 5                                                                                                             | 地質調査（ボーリング調査）、測量調査                                                                               |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               |
| 6                                                                                                             | 施設整備基本計画追加策定<br>①用地掘り下げ、煙突高 ②アクセス道路・排水計画<br>③エネルギーバランス                                           |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               |
| 7                                                                                                             | 地域振興策基本計画<br>①フィールドミュージアムの全体構想の検討<br>②多機能的複合施設の整備計画の立案 ③排熱活用計画の立案<br>④里地里山の保全と活用の立案 ⑤事業スキームの検討など |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               |
| <p>地域振興策の各施設は、計画・設計ののち適宜供用開始する。<br/>                     （ただし、排熱利用に係る地域振興策については、次期中間処理施設の稼働開始以降の供用開始とする。）</p> |                                                                                                  |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               |
| 8                                                                                                             | 施設整備基本設計<br>①基本設計（造成設計を含む）<br>②技術提案・審査・総合評価（アドバイザー）                                              |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               |
| 9                                                                                                             | 環境影響評価（県条例アセスメント）<br>①事業計画概要書 ②方法書 ③準備書・現地調査（四季調査）<br>④予測・評価 ⑤施工時調査 ⑥事後調査                        |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               |
| 10                                                                                                            | 埋蔵文化財調査<br>①現地調査 ②報告書作成                                                                          |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               |
| 11                                                                                                            | 都市計画<br>①都市計画協議 ②都市計画決定案の公告及び縦覧<br>③印西市都市計画審議会                                                   |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               |
| 12                                                                                                            | アクセス道路・地区外水路<br>（ルート検討・測量・予備設計・用地買収・発注図書作成を含む）                                                   |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               |
| 13                                                                                                            | 次期中間処理施設建設工事<br>①契約締結・実施設計 ②建築確認申請 ③施設設置届<br>④造成工事 ⑤建設工事 ⑥試運転                                    |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               |
| 14                                                                                                            | 稼働開始                                                                                             |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               |
| 15                                                                                                            | 現施設の延命化工事 ※                                                                                      |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               |
|                                                                                                               |                                                                                                  | 工事            | 工事・竣工         | 供用開始1年目       | 2年目           | 3年目           | 4年目           | 5年目           | 6年目           | 7年目           | 8年目           | 9年目           | 10年目          | →             |               |               |

注：各スケジュールには発注期間を含む。

※ 循環型社会形成推進交付金の交付対象事業である廃棄物処理施設基幹的設備改造（延命化工事）は、築25年未満の施設については、事業後10年以上施設を稼働することが、交付要件となっている。



# 次期中間処理施設整備事業 地域振興策基本構想 概要版

## 1. 構想概要

|            |                                                                                                                                                                                                                                                                           |                                                                                                                                                                                                                                        |                                                                                                                                                                                          |                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 全体構想       | <p style="text-align: center;"><b>地域まるごと フィールドミュージアム構想</b><br/>～地域の元気と来訪者の笑顔があふれるまちづくり～</p>                                                                                                                                                                               |                                                                                                                                                                                                                                        |                                                                                                                                                                                          |                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 理念・目的      | <p style="text-align: center;">多様な地域資源と次期中間処理施設から供給されるエネルギーを活用しながら、地域全体を対象とした最適なハード整備・持続可能なソフト施策を計画的に展開し、地域がもつポテンシャルを最大限に引き出すことにより</p> <p style="text-align: center;"><b>「暮らしやすく持続できる快適なまち」「訪れたい魅力あるまち」「次世代に残したい里地里山」</b></p> <p style="text-align: center;">の具現化を図る。</p> |                                                                                                                                                                                                                                        |                                                                                                                                                                                          |                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 展開種別       | <p style="text-align: center;"><b>A 地域の持続と再生に必要な<br/>インフラ整備等</b></p> <p>現状において、周辺住民の皆様が不便を感じているインフラの新設整備・充実を進めつつ、これまでに地域コミュニティで培われてきた様々な暮らしの創意工夫・伝統・自助の取組を持続的に発展させることにより、「<u>生活の利便性と社会変化への即応性の向上</u>」を図る。</p> <p style="text-align: center;"><b>道路整備・水道整備など20策</b></p>    | <p style="text-align: center;"><b>B 地域内外の人々が集う<br/>多機能な複合施設</b></p> <p>農作物等の直売機能に加え、温浴施設・<u>外食施設・余暇施設などを併設した多機能な複合施設を整備することにより、「地域経済の循環・人の交流」を促し、賑わい・収益・雇用の創出を図る。</u></p> <p style="text-align: center;"><b>農作物等の直売所・温浴施設など51策</b></p> | <p style="text-align: center;"><b>C 次期中間処理施設からの<br/>排熱利用事業等</b></p> <p>次期中間処理施設の<u>排熱を利用した事業を誘致・運営することにより、収益・雇用の創出を図る。</u></p> <p style="text-align: center;"><b>排熱利用事業者の誘致など12策</b></p> | <p style="text-align: center;"><b>D 里地里山の保全と活用</b></p> <p>印西地区全体の地域資産とも言える里地里山を適切に保全管理しながら積極的に活用することにより価値を高め、「<u>住民の癒しの場・環境学習拠点</u>」として賑わいの創出を図る。また、豊かな自然環境をPR素材として「<u>地域や農作物をブランド化</u>」し、<u>収益・農業振興に繋げる。</u></p> <p style="text-align: center;"><b>市民の森構想・森の畑構想など17策</b></p> |
| 想定する展開場所   | <p style="text-align: center;">【集落内及びその周辺】</p>                                                                                                                                         | <p style="text-align: center;">【建設候補地のある台地】</p>                                                                                                   | <p style="text-align: center;">【建設候補地周辺の里地里山】</p>                                                   |                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 想定する供用開始時期 | <p>整備協定書の締結後、<u>速やかに着手</u>することを基本として検討を進める。</p>                                                                                                                                                                                                                           | <p>次期中間処理施設の建設工事が周辺に及ぼす影響や排熱利用等の関係から、次期中間処理施設の稼働開始予定年度である<u>平成40年度以降に供用開始</u>することを基本として検討を進める。</p> <p>ただし、<u>一部の地域振興策については、地域ポテンシャルの見出しや各種法制度対応について、相当早い段階から準備等を進める必要がある。</u></p>                                                      | <p>整備協定書の締結後、<u>速やかに着手</u>することを基本として検討を進める。（多機能な複合施設が供用開始するまでに、一定程度の成果を上げたい。）</p>                                                                                                        |                                                                                                                                                                                                                                                                               |

## 2. 事業スキーム (○：適す △：可能性あり ×：適さない)

| 事業スキーム<br>展開種別 | 1. 公設公営 | 2. 公設民営 (地域とは地域が設立した法人) |            |                    | 3. 民設民営 |
|----------------|---------|-------------------------|------------|--------------------|---------|
|                |         | 2-1. 地域と公共の第三セクターが運営    | 2-2. 地域が運営 | 2-3. 民間企業・NPO 等が運営 |         |
| A インフラ整備等      | ○       | ×                       | ×          | ×                  | ×       |
| B 多機能な複合施設     | ×       | ○                       | ○          | △                  | △       |
| C 排熱利用事業等      | ×       | △                       | △          | ×                  | ○       |
| D 里地里山の保全と活用   | ×       | △                       | △          | ○ (NPO を前提)        | ×       |

## 3. 展開種別毎の評価 (総括)

|              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|--------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| A インフラ整備等    | <p>本展開は、持続的なまちづくりを支える基盤であることから公共性が高く、地域の課題に挙げるインフラ不足を解決に導く唯一の直接的な取り組みである。また、比較的短期間のうちに確実に一定の効果を発揮する即効性を持つ。ただし、地域に求められる将来像のうち、最も重要と考えられる「安定的な収益」及び「賑わい」などに対し、間接的には貢献するものの、直接的に貢献する要素や、印西地区全体への波及効果は少ない。よって、今後、周辺住民と組合との協議により、実際に展開する取り組み内容を決定 (合意) する際、整備効果と事業費を睨んだ十分な検討と精査 (選択) が求められる。</p>                                                                                                                                                                       |
| B 多機能な複合施設   | <p>本展開は、利用者と受益者が周辺住民だけに止まらず、必然的に印西地区全体へと広がることから、公益性が高い取り組みである。また、地域が主体的に取り組む地域活性化の起爆剤及び地域の元気を支える骨幹となり得ることから、地域にとって極めて重要な役割を持つ。ただし、地域に求められる将来像のうち、最も重要と考えられる「安定的な収益」及び「賑わい」などを確たるものとするには、特定の施設や機能に依存しない多面的な取り組みとして、正に多機能な複合施設としての差別化を図った整備及び運営が求められる。そうした本展開の性格により、「地方創生」に関する各省庁の交付金及び補助金が充実しているとはいえ、ややもすると選択する策が増え、事業費が高額となる恐れがある。よって、今後、周辺住民と組合との協議により、実際に展開する取り組み内容を決定 (合意) する際、「多機能な複合施設を構成する個別策の連携効果」、「印西地区全体への波及効果」及び「経済効果」と事業費を睨んだ十分な検討と精査 (選択) が求められる。</p> |
| C 排熱利用事業等    | <p>本展開は、排熱エネルギーの有効活用や低炭素化の促進に寄与することから、公共性が高い取り組みである。また、先駆的な産業の創出は、地域活性化の起爆剤及び地域の元気を支える骨幹となり得ることから、地域にとって極めて重要な役割を持つ。また、施設整備費は誘致する排熱利用事業者が負担すること及び排熱を供給する配管整備などは、今後、環境省の財政的支援を得られる可能性があることから、安価な事業費で大きな展開に繋ぐことができる可能性を有す。ただし、持続可能性などを担保する観点から、闇雲に排熱利用事業者を誘致するのではなく、「地域特性との合致」、「多機能な複合施設や地域資産との連携効果」、「地域の潜在的ニーズ」、「将来性」、「発展性」及び「印西地区全体への波及効果」などを踏まえた「まちづくりの視点」による誘致条件の設定及び事業者選考が求められる。</p>                                                                           |
| D 里地里山の保全と活用 | <p>本展開は、都心に近く、都市化が進む印西地区の貴重な地域資産である里地里山の保全と活用であることから、公共性が高い取り組みである。また、地域に求められる将来像のうち、最も重要と考えられる「安定的な収益」及び「賑わい」のほか「農業振興」など多方面に貢献することから、地域にとって重要な役割を持つ。ただし、取り組みを進める組織が環境NPOであることや、効果を得るまでに長い時間を要することが想定されることから、できるところから着手し、必要に応じて軌道修正しながら一步一步育むことが求められる。また、多機能な複合施設を展開しない場合は、連携及び回遊などの観点から、本展開の効果が限定的なものとなる。よって、今後、周辺住民と組合との協議により、実際に展開する取り組み内容を決定 (合意) する際は、これらの点を踏まえながら、十分な検討と精査 (選択) が求められる。</p>                                                                 |

## 4. 留意事項

「実際に展開する地域振興策の選択」、「地域振興策を展開する場所の選択」、「地域振興策の事業規模の程度」のほか、「事業スキーム」は、今後、周辺住民と組合との協議により決定 (合意) する。